

# 過去から未来へ

## 平成 22 年度町政執行方針

平成 22 年度の町政執行方針、教育行政執行方針が 3 月の当別町議会定例会で泉亭町長、山内教育長よりそれぞれ発表されました。開拓から 140 年、第 5 次総合計画 2 年目を迎える今年度の主な施策、予算を抜粋してご紹介します。

納屋の建築風景（大正 7 年）



### がんばる経済活動への支援

#### ◆当別町農業振興公社の設立

「人の育成」と「付加価値農産物の生産」をキーワードに、新規就農者の育成・確保、有機農産物の生産・加工・販売、通信カタログ販売等の販路拡大に努めます。

#### ◆地域ブランドの創出

アンテナショップ出展等事業として、軽トラ・マーケット、首都圏での農産物 PR 販売、関西圏への進出調査を実施します。



### いきいきとした地域コミュニティの創出

#### ◆地域担当職員制度の推進

町内会活動における各種相談に対して、担当職員が連絡調整やアドバイスをを行うことにより、高齢

化などの地域環境の変化に対応した「協働のまちづくり」の協力体制が構築されるよう、制度を推進します。



### 地域で見守り育てる福祉・教育環境の創造

#### ◆福祉文化を育むまちづくり

共生型地域福祉ターミナルや地域オープンサロンにおけるボランティア資源を効果的に実践に結び付ける取り組みや地域住民と共に取り組む地域生活支援事業、就労支援事業など共生型福祉活動を一層推進し、地域の中で高齢者と障がいのある方・子どもたちがふれあい、支えあい、学ぶという共生・協働の活動に取り組みます。

稚園敷地内に念願の「認定こども園」の建設がはじまり、平成 23 年度開園に向けて、子どもたちが同じ建物で教育・保育を受けられるという画期的な子育て環境の充実のため、事業者と準備を進めます。

#### ◆町立養護老人ホームの民営化

超高齢社会を迎え多様化する福祉ニーズに的確に対応するために、隣接する特別養護老人ホームを運営する当別長生会に運営を譲渡し、4 月 1 日より民営化します。

#### ◆幼稚園・保育所の一元化の推進

民間活力により、現在の当別幼



## 自然や田園などの景観に魅せられるまちづくり



### ◆集中美化強化月間の設定

美しいまちづくり・景観づくりを推進するためには、町民一人ひとりが積極的に地域ごと組織的に取り組んでいくことが必要であり、地域ぐるみで町民一人ひとりが景観維持・美化活動に参加しやすい体制づくりに努めます。

### ◆当別町景観計画の推進

計画に基づき、一定規模以上の建築物・工作物の新築・改修への届出義務化や、不適合な場合には、勧告・変更命令を実施します。また、道内町村初となった第1種低層住居専用地域内の広告物規制措置を着実に実施します。



## 重要施策

### ◆当別町 140 周年

町民の皆さんと共に、先人の偉業を讃え、その労苦に感謝し、未来に向けたまちづくりへの決意を新たにすため、10月10日の記念式典のほか、各種記念イベントを実施します。

広め、販路拡大を目指す「インターネット販売」の3つの機能を持った「町民活動支援システム」がスタートします。より多くの方に利用いただくよう、広報活動に努力すると共に、利用する方への支援を強化し、情報化を推進します。



### ◆公共交通の充実

当別町コミュニティバスは、自立した運行をスタートさせるために、5年間の実証運行のデータを生かし、運行便数や運賃、路線の見直しによる「当別ふれバ・スタンダード」を確立します。また、電化事業により町も札幌圏の高速電車網に組み込まれるため、経済、産業交流を活性化させる各種事業に取り組みます。

### ◆少子化対策の検討

少子化対策として、町内の子育て世代の方々、子育てをサポートする高齢者の方々、各団体の方々、有識者などによる検討会議を設置します。幼保一元化など、子育て環境が変わることも踏まえながら町として取り組むべき方向性を検討します。



### ◆情報化の推進

町民の皆さんの様々な活動を広く発信することができる「ポータルサイト」、地域の安全・安心確保や、情報共有を進める「メール配信」、当別の農産品・加工品を

### ◆北海道医療大学との連携

北海道医療大学の医学部新設に向けた取り組みに対し、全面的に支持し、バックアップします。大学と連携し積み重ねてきた福祉のまちづくりの更なる発展のためにも、医学部開設が実現するよう全力で支援します。